



元会員も加わり「洞爺湖畔の夕べ」を歌うメンバー

2月7日、洞爺地区で活動する女声コーラスグループ「フラワービーンズ」（塩田直美会長）の第30回発表会が、洞爺湖文化センターで開かれ、訪れた約110人の住民らが、美しい歌声に魅了されました。今回は、結成30周年の記念コンサートで、「たいせつなあなたへ 皆さん家族へ 感謝する」をテーマに行われました。

発表会は、これまで巡り合った曲や仲間、家族、来場者のみなさんへの感謝を込めた歌、支えてくれた家族を思い慈しむ歌を3部構成で届けました。

最後には、今までの会員もステージに登壇し、洞爺湖畔の夕べをみんなで歌いあげ、会場を盛り上げました。

洞爺に歌声響かせ30年 フラワービーンズ節目の発表会

冬の体力づくり 歩くスキーのつどい開く

冬の体力づくりを目的に、2月14日花和特設コースで歩くスキーのつどい（教育委員会主催）が行われ、25人が参加して、白銀の大自然を満喫しました。

コースは、旧花和小学校をスタートし、羊蹄山、ニセコ連峰を望む約5㎞。雪まじりの天候の中出発した参加者らは、元気に2時間ほどかけて完走し、歩くスキーを楽しみました。

昼食には、花和自治会女性部の皆さんが作ってくれた豚



歩くスキーを楽しむ参加者たち

汁と地元酪農家から提供された牛乳がふるまわれ、疲れた身体を癒しました。

洞爺国際交流協会結成25周年 「ギャップイヤーについて」の講演会

英国青年との交流を続けている洞爺国際交流協会が、2月14日、「ギャップイヤーについて」の講演会を洞爺総合センターで開催し、会員など20名が参加しました。

講演では、現在当町に滞在している英国青年のカルビン・ホジソンさんとステイブン・アシャーさんが、ギャップイヤーとはどういうもので、二人はどのような経緯で日本に来たのかを話しました。

引き続き英国青年を派遣するプロジェクトトラストのスタッフとして活動している渡辺紀子さんから、活動を通じて



洞爺国際交流協会結成25周年の記念講演会

感じたことが述べられ、ギャップイヤーの理解を深めました。



世代を超えてバレーを楽しむ交流試合

2月8日虻田高校体育館で交流と親睦を目的に開かれ、小学生から一般まで6チームが参加しました。参加したのは、一般女子の洞爺湖、ヴィーナス、一般男子のユナイト、虻田高校バレー部、虻田中学校バレー部、小学生チームエアリアルスの6チーム。

試合では、大人のチームと小学生が対戦したり、指導者がいっしょにプレーするなど、普段見れない光景が繰り広げられました。最後に、各チームに合わせたメッセージ付きのプレゼントが贈られ、来年度の活躍を誓いました。

納会で交流試合 町バレーボール協会

洞爺湖町バレーボール協会（青木佐智子会長）の平成26年度納会交流試合が、



まちのわだい